

クラウドプロジェクトに関する 4 つの基本的な質問

現在のクラウドの成果に基づいて今後のクラウドプロジェクトを計画する

クラウドベースの環境と、コンテナ、エッジ、サーバーレス・コンピューティングなどのテクノロジーは、IT 戦略にとって一般的なものとなっています。しかし、これらのプロジェクトの運用環境の重要性は多くの場合、見過ごされています。クラウドでは、ストレージ、ネットワーク、容量、統合など、非常に多くの基本的なインフラストラクチャの検討事項が抽象化されてしまうので、多くの組織が運用環境はどうあるべきかについて明確な戦略やガイダンスを用意せずに、これらのプロジェクトを個別に取り扱っています。

クラウドプロジェクトや IT プロジェクトにおいて効率性、生産性、さらにはコスト管理の目標を達成するには、IT リーダーはプロジェクト企画の根底にある前提条件を評価しなければなりません。オペレーティングシステム (OS) そのものを始めとする IT インフラストラクチャは、明確に意図した選択の結果として生まれ出される必要があります。IT リーダーが現在の環境と選択肢の評価を開始して、IT 戦略の定義に着手する、4 つの領域があります。この戦略からは将来のプロジェクトへの知見が提供され、一貫性があってチームが理解しやすく、特定の優先順位を達成できる方法で成功に備えることができます。

1 クラウド導入に行き詰まっていますか

新しいテクノロジーを採用する計画には、現実が反映されていないことがよくあります。

新しいテクノロジーの導入が、もともとの計画よりも進まなかったり、初期の戦略とは一致しなかったりすることがよくあります。Puppet が実施した「2021 State of DevOps」レポート¹で興味深い点の 1 つは、組織の 79% 以上が DevOps および関連するテクノロジーの導入に大幅な停滞が生じており、その遅れは数年にも及ぶとされていることです。

クラウド戦略が現時点で成功しているかどうかを確認するには、まずチームがクラウドプロジェクトをどのように実装しているかを評価しましょう。

▶ **ワークloadsをクラウドからオンプレミスに戻そうとしていますか?** 3 分の 1 近くの組織が、ワークloadsを元に戻すか (30%) クラウドワークloadsをデータセンターに移行(28%) しています。²

▶ **マルチクラウドですか、それともハイブリッドクラウドですか?** ハイブリッドクラウド戦略を用意していたのは 30% のお客様だけ³ですが、平均的な組織は 5.3 のクラウドを使用しています。⁴

▶ **コンテナを使用していますか (どのように使用していますか)?** コンテナは、マイクロサービス・デプロイメントに使用されると思われていますが、約 52% の組織がコンテナを、モノリシック・アプリケーションをホストする仮想マシン (VM) として使用しています。

▶ **OS の選択にどのような基準を使用していますか?** 標準化は、ハイブリッド環境において管理性を維持するために推奨される手法ですが、多くの組織が、開発とプロダクションや、異なるクラウドなど、異なる環境に異なるシステムを持つために陥っています。

2 現在のクラウドプロジェクトは成功していますか

約 65% のクラウドプロジェクトが、プロジェクトから期待された成果を得られていません。⁵

失敗したといっても、プロジェクトが開始されなかった、またはいくつかの目標を達成しなかったということではありません。それでも、こうしたプロジェクトは主要な領域での目標の一部またはすべてを達成できず、一般的には、プロジェクトの最初にクラウドが導入されたこと自体が理由となっています。

¹ Puppet、「2021 State of DevOps Report」、2021 年 7 月。

² Management Insights (Red Hat 後援)、「2020 年 Linux 市場調査」、2021 年 4 月。

³ Red Hat、「“2022 年版世界のテクノロジー展望」、2022 年 1 月。

⁴ Flexera、「2021 State of the Cloud Report」、2021 年。

⁵ アクセンチュア調査レポート、「クラウドの成果に関するアンケート：期待と現実」、2020 年 1 月。

クラウドプロジェクトは通常、主要な運用領域についてより良いプラットフォームを作り上げようとするものです。

- ▶ デプロイメントの速度
- ▶ コスト管理
- ▶ アクセスの改善

クラウドのリソースとフィードバックループは従来のインフラストラクチャ・プロジェクトの場合とはことなるため、クラウドプロジェクトの失敗は見過ごされがちです。たとえば、クラウドの初期費用は物理ハードウェアよりもはるかに安いと思われますが、使用状況を監視しないと大きな無駄が発生しかねません。

この3つの領域（初期費用やパフォーマンスだけでなく）のこれまでのパフォーマンスを確認して、最近のクラウドプロジェクトがどの程度成功を収めているかの評価に着手し、予想したほど成功していないという理由を見つけます。

3 ビジネス要件は何ですか

目的を明確にします。

新規プロジェクトが失敗する理由のトップは、特にビジネスチームと技術チームの間で、何が重要かという点で意識のすり合わせがなされていないことです。⁶

最初の目標は、ビジネスの優先事項は何で、戦略的な目標にどのように関連するかを明確にすることです。

- ▶ この特定のプロジェクトではどのメトリクスが重要で、このメトリクスをどのように追跡しますか
- ▶ 政府または業界標準へのコンプライアンスを維持する必要がありますか
- ▶ このプロジェクトのエンドユーザーは誰で、どのようなエクスペリエンスを提供する計画ですか
- ▶ このプロジェクトはビジネス戦略にどのように当てはまりますか
- ▶ このプロジェクトのアプリケーションはどの程度の頻度で変更や更新を行う必要がありますか

ビジネス目標を明確に定義してあれば、プロジェクトを立ち上げて進行させる中でビジネスチームと技術チームとの意識合わせが容易になります。

4 技術的な開始地点はどこですか

インフラストラクチャの機能はプラットフォームで決まります

OSは、データセンターであってもパブリッククラウドであっても、セキュリティや開発ツールなどの重要な機能をもたらす基盤です。運用環境での標準化は、プロセスの自動化、新しいシステムのデプロイ、アプリケーション・ライフサイクルの管理がどの程度容易になるかに影響します。

現在の（理想化されていない）技術的な状況を評価すると、技術チームが何ができる、クラウドプロジェクトの順調な進行に役立つ実装またはメンテナンスのいずれかの課題の特定を支援できるかを理解しやすくなります。

- ▶ 新規プロジェクトと同時に既存システムを維持する必要がありますか
- ▶ 定義済みで、よく理解しているワークフローがありますか
- ▶ データ管理戦略またはデータセキュリティ戦略はありますか。クラウドワークロードはどのようにデータソースの保存やアクセスを行っていますか
- ▶ 複数のクラウドや、クラウドとデータセンター環境を混在して使用していますか。これらの環境はどのように統合されていますか
- ▶ ユーザーまたはサービスは新しいクラウドインスタンスにどのようにアクセスしますか
- ▶ ステークホルダーは誰ですか。チーム間でどのようなコミュニケーションやコラボレーションを行っていますか
- ▶ あらゆる環境でインスタンスの管理に使用できる一貫したツールを持っていますか

⁶ Thoughtworks、「エンタープライズ・モダナイゼーションの実現」、2021年2月。



OS が重要である理由

OS は、IT インフラストラクチャとそれが包含するあらゆる環境を強化および統合する基盤となります。詳細は [e ブックをご覧ください。](#)

エグゼクティブ・ブリーフィングのスケジュール

ソートリーダーとエキスパートと連携して、先進的テクノロジーでビジネス上の課題に対処する方法をご確認ください。[Red Hat® エグゼクティブ・ブリーフィングをご予約ください。](#)



Red Hat について

Red Hat は、[受賞歴のある](#)サポート、トレーニング、コンサルティングサービスをお客様に提供し、複数の環境にわたる標準化、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、複雑な環境の統合、自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。

アジア太平洋
+65 6490 4200
apac@redhat.com

オーストラリア
1800 733 428

インド
+91 22 3987 8888

インドネシア
001803 440 224

日本
03 4590 7472

韓国
080 708 0880

マレーシア
1800 812 678

ニュージーランド
0800 450 503

シンガポール
800 448 1430

中国
800 810 2100

香港
800 901 222

台湾
0800 666 052

f fb.com/RedHatJapan
t twitter.com/RedHatJapan
in linkedin.com/company/red-hat